

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）

中間報告書

平成23年5月10日現在
相馬地方広域消防本部

1 地震の概要

- (1) 発生日時 平成23年3月11日（金） 14時46分頃
- (2) 震源地 三陸沖（牡鹿半島）約130Km 深さ24km
- (3) 地震規模 マグニチュード 9.0
- (4) 震度 新地町6強、相馬市・南相馬市・飯舘村6弱

2 初動対応等

- 14時48分 地震災害消防対策本部設置
- 14時49分 津波警報発令 ※13日17:58～全ての津波注意報解除
- 15時40分 津波第1波到達確認（原町区渋佐地区）
- 15時50分 津波最大派7.3m以上観測（相馬検潮所）※9.3m超に修正
- 16時30分 緊急消防援助隊要請 ※18:52静岡県・群馬県隊出動
- 16時46分 自衛隊災害派遣要請（県消防保安課で依頼）

3 初期活動概要（3月11日のみ）

- (1) 地震警戒調査・広報、津波警戒調査・広報、情報収集・被害調査・避難誘導等
- (2) 火災出動 5件出動
- (3) 救急出場 25件
- (4) 救助出動 19件
- (5) 油流出対応 1件
- (6) 行方不明者捜索 終日

4 災害活動一覧

- (1) 災害活動一覧
 - ① 3月11日（金）から3月31日（木）は、各日毎
 - ② 4月1日（金）から5月10日（火）は、連続記載

5 職員参集状況

- (1) 3月11日（金）147名中129名参集
- (2) 3月13日（日）147名中144名参集
 - ※3名参集なし～航空隊派遣、救急救命東京研修所派遣、病気休暇

6 被害概要（平成23年5月9日現在）

※1 上段は、各市町村災対本部発表

※2 下段は、福島県発表

※3 建物罹災数は推定値か詳細調査中

市町村別	死 亡	行方不明	負傷者	建物全壊	半 壊	一部破損
相馬市	4 3 9 4 1 4	5 4 5 8	— 7 1	調査中	調査中	調査中
南相馬市	5 3 4 〃	4 0 4 〃	5 9 〃	1, 8 0 0以上		調査中
新地町	9 2 〃	2 3 〃	3 〃	5 0 1	調査中	調査中
飯舘村	1 〃	0 〃	1 〃			
計	1, 0 6 6 1, 0 4 1	4 8 1 4 8 5	6 3 1 3 4			

- ・ 県内 死者数1, 5 5 3人、重軽傷者数2 3 5人、行方不明者7 3 3人
住宅被害（全壊、半壊、一部破損、床上・床下浸水）5 5, 2 5 3棟
- ・ 死者数（1 2都道県）1 4, 9 4 9人、行方不明者（6 県）9, 8 8 0人
計 2 4, 8 2 9人

7 庁舎及び車両等の被害状況

(1) 庁舎関係

①本部・南相馬消防署関係

- ・ 本部会議室ガラス1枚、本部書庫のガラス1枚破損
- ・ 本部書庫のスチール棚破損
- ・ 水道管漏水1カ所（1階出入口）
- ・ 庁舎に多数の亀裂

②新地分署

- ・ 1階玄関外部天井剥離、給水・排水管断裂、地図検索用PC1台故障

③飯舘分署

- ・ 庁舎に多数の亀裂

(2) 車両関係

(省略)

9 職員の罹災状況

(1) 人的被害（広域） 計3名

- ① 職員の死亡、負傷はなし
- ② 職員の家族で母親死亡が2名、祖母死亡が1名

(2) 物的被害（広域） 計17件

- ① 自宅の流出及び全損は、8件
- ② 自宅の1階水損は、9件

(3) 人的及び物的被害（管内・全体）

1 0 緊急消防援助隊等 ※資料 8

- (1) 緊急消防援助隊（当広域への派遣は、平成23年5月11日で終了）
指揮支援隊、消火隊、救助隊、救急隊、後方支援隊等
10都県 延べ725隊・2,652名
※集結野営拠点が郡山カルチャーパークから福島県消防学校となる
- (2) 消防防災ヘリ 14府県 14機
- (3) 福島県内応援隊（救急隊） 7本部 延べ68隊・214名
- (4) 福島県連絡調整本部
※3月16日（水）から毎日、当広域職員を派遣

1 1 東京電力福島第一原子力発電所事故関係

- (1) 3月12日（土）5：44～10Km圏内避難指示（南相馬市小高区の一部）
※3月12日（土）15：36～1号機爆発
- (2) 3月12日（土）18：25～20Km圏内避難指示（南相馬市小高区・原町区の一部）
※1 3月14日（月） 9：30～小高分署が南相馬消防署に移転
※2 3月14日（月） 11：01～3号機爆発
- (3) 3月15日（金）11：06～20から30Km圏内屋内退避（南相馬市小高区・原町区・鹿島区の一部、飯舘村の一部）
※官房長官会見25日11：46～自主避難促進
- (4) 4月21日（木）11：00～警戒区域（20Km圏内）設定
- (5) 4月22日（金）9：44～「計画的避難区域」（飯舘村全域・南相馬市の一部、1ヶ月以内に避難）を指定、「緊急時避難準備区域」（南相馬市の一部20～30Km圏内、屋内退避指示は解除）を設定

1 2 災害詳細

(1) 放射線関係

① 職員の被爆放射線料調査

※ポケット線量計を職員全員に携帯させ、3月11日から2ヶ月間（5月12日まで）の被爆放射線料を調査し、その結果から今後の健康管理を通知した（5月13日付け）。

② 県内7方部環境放射能測定結果（暫定値）～モニタリング1（7方部）

③ 20～50Km圏付近環境放射能測定結果（暫定値）～モニタリング3（20Km～50Km圏）

(2) 支援物資等

① 装備品関係

・全国消防長会・東北支部関係

群馬県前橋市消防局、群馬県太田市消防本部、茨城県筑西消防本部、那須青年会議所、千葉県流山消防本部2回、東京都稲城市消防本部3回、茨城

県つくば市消防本部、松戸市消防局（松戸市消防団長）、

・上記以外

日本麻酔学会、あーるえす（株）、日本グローブサービス（株）、サンセイ医機（株）・アルケア（株）・日本シグマックス（株）、ファーノ・ワイシントン社、ファーノ・ジャパン・インク日本支社

② 食料・飲料水関係

相馬市、南相馬市、椎名医師、南相馬市青年会議所、福島県消防協会、（株）オケヤ、東京タイガ（株）、白河広域総務課庶務係長、船橋市長・船橋市消防局長、前白河消防本消防長、森茂雄氏ほか

※鈴木孝雄氏（OB懇話会会長）より、発災直後に炊き出しあり

③ 県配備品

東京都福祉局、県災害対策本部、オフサイトセンター（一時立入）

④ 消防協会関係

日本消防協会、福島県消防協会、南会津支部、西郷村消防団、只見町消防団、石川町消防団、浅川町消防団、船引町消防団、福島市消防団、棚倉町消防団、南会津町消防団、喜多方市消防団、県内各消防団

⑤ その他

NTTドコモ

※携帯電話18台を4月12日から7月11日までの3月間無料借用

(3) 医療関係

東京電力福島第一原子力発電所事故により、3月15日（金）11：06に20から30Km圏内屋内退避（南相馬市小高区・原町区・鹿島区の一部、飯館村の一部）指示がだされ、南相馬市は自主避難を開始した。3月17日から22日まで屋内退避区域（20～30Km）または周辺地域の病院・施設等から、入院患者または入所患者全員を緊急消防援助隊、県内消防応援隊、自衛隊、消防防災ヘリ等で外部受け入れ先へ搬送した。そのため、医療機関の医師及びスタッフも避難したため機能せず、相馬市の医療機関並びに管外の医療機関に搬送することとなる。また、その区域から搬送する患者は放射線スクリーニングが必要となり、管外へ搬送する際はスクリーニングポイントでスクリーニングを実施後（証明書発行）に搬送していた。更に、管外でも受入制限する病院もあり、逐次情報提供された。

5月10日現在では、4月22日（金）9：44から20～30Km圏内が緊急時避難準備区域となり屋内退避指示は解除されたことにより、搬送患者のスクリーニングは解除された。南相馬市原町区（小高区は警戒区域）の医療機関は外来（一次）患者のみ対応で、救急（二次・三次）患者は南相馬市鹿島区から以北並びに管外へ搬送している。

(4) 生活情報関係

① 生活情報について

相馬地方広域市町村圏組合事務局より食品、燃料、美容室、病医院、薬局、

交通機関等の生活情報について、3月20日からFAXで情報配信されたが、3月26日よりインターネットによる配信となり、営業する店舗等が増加してきたことから4月15日をもって配信終了となる。

② 車両燃料等について

原発事故発生後は、南相馬市にローリーが入って来ない状況も続き緊急車両の燃料（ガソリン、軽油）もなく、職員が通勤する燃料もない状態が続き、毎日のように燃料確保に苦慮した。県及び各市町村災害対策本部と調整しながら、更には個人個人の連絡網等により、販売できるガソリンスタンドの協力を得て燃料を補給した。特に、軽油についてはローリーごと本部へ保管し給油する体制をとることができた。

(5) 重要業務（災害関連）

① 本部

- ・ 消防長メッセージ発信（3月14日付）
- ・ 「東日本大震災に係る勤務体制等について」通知（3月14日付）
- ・ ヨウ素剤服用（3月13日・14日）
- ・ 「東京電力第一原子力発電所爆発に伴う消防本部、南相馬消防署、小高分署の移転について」通知（3月15日付）
- ・ 緊急所属長会議（3月16日14：00～消防長室）
- ・ 相馬地方地震災害対策会議（3月17日9：00～相馬市役所3階庁議室）
- ・ 「県北方面への救急搬送について」通知（3月23日付）
- ・ 臨時所属長会議（3月23日14：00～消防長室）
- ・ 「個人装備品等の希望について」FAX通知（3月26日付）
- ・ 臨時所属長会議（3月29日10：00～本部会議室）
- ・ 退職辞令交付・離任式（3月31日13：00～本部会議室）
- ・ 辞令交付式等（4月1日9：00～事務局）
- ・ 消防長巡視（4月5日、全所属へ）
- ・ 定例所属長会議（4月8日10：00～本部会議室）
- ・ 管理者会（4月15日10：00～南相馬市役所市長応接室）
- ・ 「東日本大震災に伴う災害対応について」、管理者より職員各位へ依頼文あり（4月15日付）
- ・ 「相馬地方広域市町村圏組合手数料の免除について」通知（平成23年4月15日付）
- ・ 「東日本大震災に伴う避難所における火災防止等について」通知（平成23年4月15日付）

※各所属で特別査察実施～結果報告書関係書類を添付

- ・ 「搜索活動等の安全管理について」通知（4月20日付）
- ・ 総務省消防庁が災害御礼のため来庁（4月27日）
- ・ 退職辞令交付（4月30日9：30～消防長室）
- ・ 南相馬市消防団鹿島区団慰霊者追悼式（5月1日14：00～みちのく鹿島球場）

- ・ 月刊誌「近代消防」へ、救命相馬の全損及び相馬市議会災害対策本部活動記事掲載依頼（5月9日付）
 - ・ 定例所属長会議（5月10日10：00～本部会議室）
 - ・ 管理者会（5月12日13：30～相馬市役所5階第2委員会室）
- （大震災で影響を受けた主な業務等）
- ・ 予防技術検定試験中止
 - ・ 気管挿管磐城共立病院実習中断
 - ・ 第34回救急救命士国家試験の受験延期
 - ・ 平成23年度前後期救急救命士東京研修所派遣中止（
 - ・ 平成23年度第71期消防学校初任教育延期
（その後平成23年5月17日から10月21日となる）

② 福島県消防協会相馬支部関係

相馬支部では、各役員（団長、区団長）は無事であったが、消防団員の中には、死亡した者、家を罹災した者も多数いる。

平成22年度事業で第2回訓練指導員全員会議（3月11日予定）

役員会（3月26日予定）

平成23年度支部会（4月22日予定）

第63回福島県消防大会（5月27日予定）

③ 相馬地方防火安全協会関係

会長が避難しており、電話での連絡となる。平成23年度は、監査のみ実施し役員会及び総会は中止することとなる。

④ 相馬地方消防設備協会関係

平成23年度は役員会を開催後、今後の方針を決定する。

⑤ 各所属の対応

- ・ 消防本部は、発災直後に地震災害消防対策本部を設置するが、水道の断水、電話回線の不通により、翌12日にライフラインが機能している相馬消防署に機能移転した。その後、緊急消防援助隊との協議により鹿島分署1階に対策本部を移動し、更に、消防本部のライフラインの復旧により、もとの状態での機能となる。

- ・ 各所属は各市町村災害対策本部と調整を図りながら災害活動に従事し、勤務体制については、各所属長裁量とした。また、各所属間で協力し人員を配置している。

※「東日本大震災に係る勤務体制等について」通知（3月14日付）

（6）余震等地震発生状況

- ・ 震度3以上で、南相馬市緊急情報メールサービスで配信された地震は、当該巨大地震以降2ヶ月間（5月10日まで）で300回、緊急地震速報は29回発信された。

※新聞報道では、東日本大震災以降5月11日まで、気象庁が発表した緊急地震速報は全国で73回